

6月30日(土)周防大島町立城山小学校で、保護者・地域と連携した避難訓練実施

城山小学校で土曜参観日に保護者や地域の方々と連携した防災避難訓練を実施しました。

当日のテーマは、

- 1 地震・津波災害発生時に安全に避難できるよう、避難の方法、心構え、行動等の仕方を学ぶ
 - 2 教職員の各担当の動きを、実践をとおして確認する
- の2点でした。

<避難訓練の実施>

1 地震発生

○「ただ今、緊急地震速報がなりました」(放送)



地震の効果音(3分間)

児童はすぐに机の下に潜り、机の脚をしっかりと持って、強い揺れから身を守ります。



2 安全な場所への避難

○「強い揺れがおさまった。先生の指示に従って、学校横の空き地に避難せよ。」
(ハンドマイクで指示)

児童と保護者、地域の方々は、迅速に学校横にある空き地に避難しました。



3 一次避難場所で児童の確認

空き地に避難後、児童が全員無事避難できたことを確認しました。

揺れが大きかったことから津波を警戒し、高台の二次避難場所に避難することとしました。



4 二次避難場所への避難

先見の教員が前方の状況を確認して、本隊に報告しながら安全に避難行動をします。

約1.3km離れた二次避難場所に全員無事避難しました。



二次避難場所で4時間程度待機するという想定で飲料水を、また当日、雨が降ったりやんだりする天候だったので、雨よけのビニルシートや傘を持って避難しました。



<防災倉庫の中には何が入っているの?>

周防大島町には、町内13箇所に防災倉庫が設置されています。城山小学校の敷地内にもありますが、子どもたちは、日頃この中を見る機会がなく、中に何が入っているのか知りません。

当日は、町役場の方のご厚意で中に入っている物を見せていただきました。

倉庫の中には、発電機やかまど、簡易トイレ、浄水器、炊飯袋、投光機など避難所生活での最低限の資機材が収納されています。

倉庫に入っている「簡易間仕切り」を実際に使って、避難所体験の活動もしました。



<炊き出し訓練も実施しました>

大規模災害の発生により、避難所に避難し、電気やガスがストップしたことを想定し、飯盒によるごはんや大鍋によるカレーの炊き出し訓練も実施しました。

煙に耐えながら、みんなで力を合わせて、活動することができました。



児童にとっても、教職員にとっても、保護者や地域と連携した意義深い訓練となりました。